

のびる

令和6年6月3日 発行
渋谷区立神南小学校長 山口 信忠
きこえとことばの教室

〒150-0042 渋谷区宇田川町5-1

TEL:03-3464-0659

FAX:03-3464-0636

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/jinnane/>

TEL:03-3464-4105 (教室直通)

ツユクサの青い花が鮮やかに映える季節になりました。この小さな青い花は、朝に咲き、夕方にはしぼんでしまうそうです。ツユクサの他にも、道端に咲いている自然の植物が多くあります。身近な自然を見付けてみましょう。



雨の日が増え、湿気も多くなり体調管理が難しいこともあるのではないのでしょうか。「早寝、早起き、朝ごはん」を習慣付け、元気に生活してほしいと思います。

～6月・7月の予定～



- 6月 4日(火) 都難言協ブロック研究会
- 11日(火) 都難言協専門研究会
- 18日(火)
- ～27日(木) 在籍学級訪問(ことばの教室)
- 22日(土) 学校公開
- 25日(火) 都難言協通級指導学級研究会



- 7月 2日(火) 都難言協ブロック研究会
- 3日(水) 在籍学級担任研修会(午後)
- 9日(火) 都難言協専門研究会
- 11日(木) 通級終了
- 12日(金)
- ～19日(金) 長期休業前面談
- 21日(日) 夏季休業日始
- 22日(月) 夏季入級相談始
- 29日(火) 都難言協専門研究会
- 30日(水) 夏季入級相談終

※予定は変更になる場合があります。

～在籍学級訪問(きこえの教室)を行いました～
5月20日(月)～31日(金)にきこえの教室の在籍学級訪問を行いました。在籍校での児童の様子を参観し、担任の先生や特別支援教育コーディネーターの先生と面談を行いました。

ご多用の中調整いただいた先生方、
ありがとうございました。



～在籍学級担任研修会のお知らせ～
7月3日(水)に、在籍学級の先生方、特別支援教育コーディネーターの方を対象に在籍学級担任研修会を行います。

きこえとことばの教室について、指導の様子、ご配慮いただきたいこと等をお伝えする予定です。詳細は別途お知らせします。

おねがい



雨の日は、きこえとことばの教室の電話がつながりにくくなります。つながりにくい場合は、神南小学校の職員室(03-3464-0659)におかけください。
よろしく申し上げます。

在籍学級訪問（ことばの教室）を行います

6月18日（火）～27日（木）の期間で、ことばの教室の在籍学級訪問を実施します。

在籍学級での児童の普段の様子を観察したり、担任の先生と話し合ったりする、貴重な機会となります。担任の先生にことばの教室での指導や、学級でご配慮いただきたいこと等をお伝えしたり、個別指導計画について話し合ったりします。

在籍学級訪問期間中の指導はお休みになります。『「在籍学級訪問」に伴う通級指導中止に関するお知らせ』を各家庭でご確認ください。

長期休業前面談を行います

7月12日（金）～19日（金）の期間で長期休業前面談を行います。保護者の方と、きこえとことばの教室の指導についてお話しさせていただきます。面談日時調整票を後日配布しますので必ずご提出ください。

水泳指導について

きこえの教室では、難聴の児童は、水泳指導に関することばや、補聴器や人工内耳の管理のこと、水泳時に気を付けること等を事前に学習します。ご家庭と連絡を取り、在籍学級訪問の際に担任の先生や特別支援教育コーディネーターの先生ともお話をさせていただきます。児童が安全で楽しく活動に参加できるように努めています。

～水泳指導が始まるまでに、以下のことを確認しておきましょう～

【入水前】

〈人工内耳、補聴器を外す場合〉

- ・外した機器は、ケースにしまえます。

＊いつ、どこで外し、だれが、どこに保管するか決めておきましょう。

〈人工内耳の防水カバーや防水パーツを使う場合〉

- ・防水カバーをつけたり、防水パーツにつけ替えたりします。

＊いつ、どこで、だれがつけるか決めておきましょう。

【入水中のきこえの支援】

- ・補聴器や人工内耳を外した後は、視覚的支援が必要となります。また、防水カバーをつけると、人工内耳をつけていても聞こえにくくなります。カードやホワイトボードを使用する等、聞こえないことに配慮した支援をお願いします。

- ・特に、自由練習のときは夢中になり、「終了」の合図がわかりにくいことが多いようです。友達同士で助け合う関係作りも大切です。

【プールから出た後】

- ・髪の毛、耳、耳の周りをよく拭き、しっかり乾いてから機器をつけます。

＊濡れたまま機器をつけると故障します。気を付けましょう。

＊いつ、どこで、だれが機器をつけるか、またはつけ替えるか、確認しておきましょう。

【緊急時の対応】



補聴器や人工内耳を外した活動中に、避難等の緊急事態が生じた場合を想定し、対応を事前に決めておきましょう。

＊緊急時は十分な情報伝達の手段を確保できず、音声の指示が多くなります。難聴児は音声だけの指示では聞き取れない、分からないことが多いです。周りの大人が事前に説明しておくことが重要です。

